

神奈川県立秦野曾屋高等学校 学校運営協議会 開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催しました。

|      |   |
|------|---|
| 会議名称 | 令和7年度 秦野曾屋高等学校 第3回 学校運営協議会  |
| 開催日時 | 2026/3/5  |
| 開催場所 | 秦野曾屋高等学校 会議室  |
| 出席者  | 【委員】梶山孝夫、佐野典文、獅々倉聡、反町聡之、三浦義政、山口正樹、渡邊誠司<br>【事務局】佐藤道和、沼田伊里、甲斐正、廣重直樹、富田壮、齋藤昂良、綿引俊哉、川島聡、橋本誠、杉田誠一郎   |
| 会議資料 | 令和7年度 秦野曾屋高等学校 第3回学校運営協議会   |
| 議事録  | <p>◎校長挨拶<br/>再編・統合に向けて、生徒に寂しい思いをさせないようにしたい。部活動については、多くの部が大会で活躍した。次年度に向けて準備していきたい。</p> <p>◎令和7年度学校評価報告書・各グループの取組について</p> <p>●学習支援グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英検の受験者数と合格者の推移について、少しずつ向上している。</li> <li>・スタディサプリイングリッシュ活用の効果が少しずつ出てきている。</li> <li>・授業力向上推進重点校として、ベテランの教員が若手をどう育てるかを考え、実行していきたい。</li> <li>・本校の特色である英語教育を再編・統合後の学校にどう引き継いでいくかを考えていく必要がある。</li> </ul> <p>●生徒会支援グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・運動部・文化部ともに、大会やコンクールで活躍した。</li> <li>・昨年度は入学予定者説明会の中で、部活動加入の動機づけとして勧誘活動を行ったが、期待した効果が得られなかった。今年度は昨年度のものを改善し実施したい。</li> <li>・ソヤリンピックを3月に実施予定である。</li> </ul> <p>●生活支援グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導案件が増加しているだけでなく、心理面でのサポートを必要とするケースが増えている。外部機関と連携しながら対応してきた。</li> <li>・教員に向けた人権研修会を実施した。</li> <li>・挨拶アンケートを実施した。地域の人に向けた挨拶があまりできていない実態が浮かび上がった。知らない人と話すことが怖いという意見が見られた。</li> <li>▶来校している方に挨拶をすることを徹底せよという指導でもよいのではないかな。</li> </ul> <p>●進路支援グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・例年のように100人を超える生徒が指定校推薦を希望した。</li> <li>・今年は桜美林大学を総合型選抜で合格した生徒が多い傾向が見られた。湘北短期大学については、今年は男子の進学もあった。明治学院大学には一般入試で受かった生徒が2名いる。目的意識を持って受験した生徒が多かった。</li> <li>・3年生は外部機関にお願いして、面接試験を受ける生徒全員が面接の練習を夏から行った。</li> <li>▶推薦で入学した生徒はあまり勉強してこないという意見が大学教員から聞かれる。合格後の勉強について指導しているか。</li> <li>・教員から厳しく指導してもらっている。4月の授業で困り、そのまま退学するという学生もいるのでそうならないようにという話をしてきた。</li> </ul> <p>●広報情報・特色グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・3年生には、英検2級を受けるように1年生の時から意識づけしてきた。英検を頑張った生徒は受験も頑張り、成果が出たと感じている。</li> <li>・来年度以降の志願者数を確保するために、工夫していく必要がある。</li> <li>・夏季福祉体験について、今年も例年と変わらない人数の生徒が参加した。ガイダンスの実施の仕方の工夫が必要だと感じている。</li> <li>・中学生がどのような情報を知りたいかを工夫しながら、ホームページの構成も工夫していきたい。</li> </ul> <p>●管理運営グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1月にシェイクアウト訓練を実施した。</li> <li>・PTAと生徒と協力して校舎内外の清掃活動を行った。</li> <li>・美化委員会の2年生がルーフバルコニーの清掃をしたいという提案をして、一般の生徒にも参加を呼びかけ清掃活動を行った。</li> <li>・ソヤリンピック(球技大会)で、PTAが豚汁を提供することになっている。</li> </ul> <p>◎各グループの取組に対する意見・質問</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベテランと若手の開きが大きいい中で、どのように生徒を引っ張っていくかを考えていく必要がある。</li> <li>・各部活動の活躍ぶりが見えるところが良かった。再編・統合に向かっていく中で、人数が少ない分、しっかりと面倒を見ていくという姿勢を示していくことが重要である。</li> <li>・夏季福祉体験について、生徒に興味を持ってほしいと思っているので、感謝している。協力したいと考えているので、引き続き活動を実施してほしい。</li> <li>・挨拶について、地域との気持ちのつながりを考えると、挨拶しかない。校舎内での挨拶だけでは、地域の思いとは違ってしまいかもしれない。</li> <li>・秦野曾屋高校がなくなるのは残念なことである。本町地区にいる学生の人数が減ってしまうと、地域の人との挨拶ができる機会がなくなってしまう。挨拶運動を行ってもらえるとありがたい。</li> <li>・電子黒板が導入されたことによる効果はどうか。</li> <li>▶タブレット端末として使えるので、実際に調べたり、映像を見せたりしながら授業ができています。画面に直接書き込めるのも良い。ICT支援員もいるので、より多くの機能を学びながら、効果を出せるようにしたい。</li> <li>▶電子黒板では双方向でやり取りができる。生徒が持っているPCの画面を表示させながら発表してもらってもできる。</li> <li>・英検について、どれほどの成果が出ているのか。</li> <li>▶受験者数までは確認できていないが、合格者が多いことは確実で、再編・統合後も引き継いでいきたい。</li> <li>・PTA活動について、保護者を募集して活動するなかで、参加者が増えてきている。部活動のためにタオルを作って販売してはどうか、横断幕を作ってはどうかなどの意見が出てきている。担当の教員と話し合いながら、活発に活動していきたい。さらに独自性のある活動をしていきたい。</li> </ul> <p>◎最後に会長より</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・募集について、定員割れが起きている。地域的な特性や私学へ流れる生徒の増加などが考えられる。公立高校活性化のために、国が支援を考えているが、おそらく来年も定員割れが起きるだろう。英検の取組状況を包み隠さず数字を出し、これだけ頑張っている生徒がいることを示していく必要がある。再編・統合していくにあたって、様々な取り組みを行うための司令塔として組織を作っても良いと思う。来年度担任になる教員が核となって知恵を出し合って、先を見越して、生徒が秦野曾屋高校で良かったと思えるように取り組んでほしい。</li> <li>・誰のために授業力向上をするのかという視点が重要である。基礎学力が本当に上がっているのかどうかなどの数字を出していくことが重要だと思う。学習指導要領がどのように作られたかなどを知っておくことも重要だ。何のために勉強しているのかなどを理解させ、生徒のモチベーションを上げていくことも大切だ。私学は、企画会議を待つなどのような障壁がなく、スピード感がある。スピード感のある働きがあると良い。</li> </ul> <p>◎次回について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5月11～13日を候補として考えている。</li> </ul> |